



青南だより

令和3年夏休み号

港区立青南幼稚園
園長 新山 裕之

<子どものみずみずしい感性>

梅雨の頃、園庭で遊べない大雨の日、テラスから砂場を見ていた年少児が「砂場が海になっている！」と驚いていました。「どうして雨が降るの？」とも言う子もいます。皆さんならどう答えますか？園児の中でも特に年少児は、初めて体験する出来事を実に素直に受け止め、それを知っている限りの言葉や表情で表現しますから、本当にかわいいです。さらにその気持ちや表現を受け止め、共感することを丁寧に繰り返していくことで豊かな感性が少しずつ育っていくのです。

<感動や驚きには共感が大事>

そんな場面に日々出会うことができる私たちは、本当に幸せ者だと思います。学年だよりや保護者会でもお伝えした姿ですが、初めてきゅうりの葉っぱに触った子が、その感触を何と表現したらいいのか分からないけど、教師の顔を見て目を丸くしました。何と表現したらいいか分からない驚きや気持ちを誰かに共感してほしいかったですね。これは人としての原始的な欲求なのだと思います。夏休み中、ご家庭でもそんなやり取りができると、子どもも大人も心が豊かになるはずですよ。

<〇〇した方がいいのは分かっているけれど…>

とはいえ、頭では分かっているけど、実際にはできないことが多いのが人間です。大人でさえもそうですから、幼い子どもはできないことがあって当然です。保護者会でも話したように、子育ては野菜を育てることと似ています。よく育ててほしいと願っても、引っ張っては抜けてしまい、水や肥料もやり過ぎては枯れてしまいます。植物によって日当たりや水やりの適量も違います。子どもとのやり取りをいろいろと試してみて、少しだけ待つことができると、ちょっと見ない間に小さな花が咲いて実がなっていることがあるはずですよ。

青南の 二十四節気

・・・葉月（はづき）・・・

立秋（7日）…セミが鳴き、暑さはまだまだ続きます…

処暑（23日）…暑さも少し収まり、もうすぐ2学期…

子どもたちと育てた夏野菜は、枝豆、ピーマン、キュウリなどでした。今年は、採れたての野菜を調理して、匂いの味を味わうこともでき、嫌いだった野菜もおいしく食べられた、もっと食べたいなどという声をたくさん聞くことができました。家でもプランターで野菜作りを始めたという方もいました。幼児期にこそ、手間ひま掛けて育て味わう体験がとても重要です。



今年は雨が多かったですね。まさに海！



キュウリの葉っぱに触ったら何と表現しますか？



園庭の花や草で試行錯誤する色水遊び



園内研も初のオンラインでの実施でした



暑い日にはミストが気持ちいいね！